



耐久高等学校同窓会報

耐久



選手宣誓



玉入れ



3年生 綱引き

完全燃焼の体育大会

令和5年10月27日(金)



校舎玄関

さあ！
夢の舞台へ！



選手の喜び



報告に向かう
3人



号外配り



湯浅旧駅舎



湯浅郵便局

NO. 53



2年生 綱引き



1年生 綱引き



3年生 フォークダンス

ごあいさつ



同窓会長 大西 義弘 (高16期)

若船の

二手になりて

上りけり

子規

早春の候 同窓会員の皆様には、お健やかに過ごすごのことに存じます。

今年の干支は「辰」です。動物にあてはめると「竜」です。「竜の雲を得る如し」という諺のように、活気と飛躍に溢れる年にしたいですね。

元日には能登半島地震が発生し、建物や家屋が倒壊し、多くの人命を奪いました。謹んで哀悼の意を表し、一日も早い復興を祈念いたします。

昨年の9月16日には、4年ぶりに本部及び有田耐久会総会を開催しました。来賓には県議会議員、湯浅町長、関東・関西・和歌山耐久会会長を迎え、70余名の参加を得て、会員相互の旧交を温め、和やかなひと時を過ごしました。9月21日は母校の文化祭を見学しました。各教室での展示、体育館では熱演の舞台演技、インターロッキングでは模擬店が催され、盛況で参加された皆さんには、全員笑顔が溢れていました。

10月8日、硬式野球部が秋の近畿大会県2次予選で見事に初優勝を果たしました。近畿大会では、1回戦・2回戦に勝利し、準決勝では惜しくも敗退しましたが、ベスト4の快挙を成し遂げました。本年1月26日、春の選抜大会出場校選考委員会より、本校が甲子園出場校として発表があり、学校、関係者一同歓喜に湧きました。これも偏に選手の皆さんはじめ井原監督、関係者の皆様の汗と努力の賜物です。硬式野球部創立以来の初快挙となり、本校に新たな歴史を刻んでくれました。誠におめでとうございます。選手の皆さん、甲子園球場での奮闘・活躍を関係者一同期待しています。

令和5年11月3日、東京大学名誉教授の谷口維紹氏(高18期)が文化勲章を受章されました。分子生物学・免疫学の研究分野で、サイトカインを研究するなどの業績が評価されました。谷口先生のご功績に敬意を表したいと思えます。誠に改めてとうとうございます。

本年も、会員相互の親睦や旧交を温め、さらに「関東・関西・和歌山・有田耐久会」との交流をより深めて、楽しく・魅力ある同窓会となるよう努めて参ります。今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

祝 第96回選抜高等学校野球大会 甲子園初出場！



この度、本校硬式野球部が1905年の創部以来、春夏通じて初めての甲子園出場が決定し、本校創立171年の歴史に新たな1ページを刻むこととなりました。

教職員、在校生、PTA会員はもとより本校同窓会、硬式野球部OB会共々大変感激しております。選手達も近畿/和歌山県の代表として決意を新たにし、皆様方のご期待に応えるべく連日練習に励んでいるところです。

選抜出場に際し、皆様方のご厚情を賜りたく、ご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

同窓会活動報告

2023 (R5) 年

- 9. 6 本部役員会 (本校)
- 11 本部・有田耐久会合同会議 (本校)
- 16 本部同窓会・有田耐久会総会(湯浅町地域福祉センター)
- 10. 13 本部・有田耐久会役員会 (本校)
- 18 本部・有田耐久会役員会 (本校)
- 21 稲むらの火祭 (広川町役場～八幡神社)
- 25 本部・有田耐久会役員会 (本校)
- 11. 14 選抜大会出場に向けての打ち合わせ (本校)
(同窓会・PTA・OB会・保護者会・学校)

- 11. 28 会報委員会 (本校)
- 12. 7 硬式野球部特別後援会 (本校)
- 19 硬式野球部特別後援会 (本校)
- 20 本部・有田耐久会役員会 (本校)

2024 (R6) 年

- 1. 15 硬式野球部特別後援会 (本校)
- 29 会報委員会 (本校)
- 2. 29 卒業生クラス代表との懇談会 (本校)
- 3. 1 第76回卒業証書授与式

支部連絡先	和歌山耐久会	関西耐久会	関東耐久会	有田耐久会
	会長 西 博 義 〒640-8301 和歌山市岩橋 1690-47 Tel 073-475-2677	会長 鈴木 祥生 副会長 宮崎裕子・西久保雅昭 〒651-2127 神戸市西区玉津町西河原 210-7 Tel 080-2434-6893(宮崎)	会長 林 紀 男 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12-1002 株式会社 オフィス ココ 桜パンケット Tel 03-3359-9520	会長 和 泉 保 廣 〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅 1985 耐久高等学校・同窓会事務局 Tel 0737-62-4148
同窓会のホームページ URL http://taikyukai.net/				

令和5年度 同窓会総会開催

令和5年度同窓会本部及び有田耐久会総会が9月16日、一昨年新築された湯浅町地域福祉センターで4年ぶりに開催された。70余名の参加を得て、受付では久しぶりの顔を合わせての総会を喜び合った。第一部のアトラクションではファミリーコーラス「ほほえみ」によるミニコンサートを鑑賞した。濱口梧陵翁の思いをもとに作られた朗読と歌による生涯劇「梧陵さん」から「村を守るために」、混声合唱「梧陵翁の夢」など披露された。その迫力とパワーに参加者一同は感動し、盛大な拍手を送った。第二部は、池永義子副会長（高21期）による総会司会で始まった。大西義弘（高16期）会長は、「母校の応援団として精進し、親睦を深め楽しい、魅力ある同窓会になるよう努めます」と挨拶。和泉保廣有田耐久会会長（高22期）は、「本部と連携しながら、会員相互の親睦と母校の発展のために微力ながら努めていきます」と話し、戸川しをり校長（高36期）は、「生徒たちは地域の方たちや卒業生の皆さんに支えられながら、落ち着いた環境で高校生活を送り心身ともに成長している。この先も生徒や卒業生にとって誇りと思える学び舎であり続けたい」と述べた。

続いて来賓が紹介された。

その後山田展生幹事（高31期）による議長で、議事が行われ本部役員改選では全員信任された。続いて有田耐久会総会が行われ、役員改選では全員信任された。

この後、弓場守副会長（高30期）の司会で懇親会が始まった。来賓の方々からご挨拶をいただき、原秀明氏（高12期）の力強い乾杯発声の後、各テーブルで歓談が始まり、和気あいあいと会員相互の旧交を温め、和やかなに閉会した。



令和5・6年 本部同窓会役員名簿

役職	氏名	期	役職	氏名	期
会長	大西 義弘	高16	常任幹事	野下 康雄	高23
副会長	棚野 裕明	高18	常任幹事	大浦 睦美	高28
副会長	池永 義子	高21	常任幹事	大西 和彦	高29
副会長	岩岡 美紀	高28	常任幹事	森 廉始	高29
副会長	弓場 守	高30	常任幹事	新谷 彰	高31
会計	森 裕美	高26	常任幹事	栗田 佳樹	高41
常任幹事	坂本 康寛	高18	会計監査	神田 公子	高25
常任幹事	法眼 貞子	高19	会計監査	大前 真紀	高32
常任幹事	和泉 保廣	高22	顧問	下野 憲英	高13

令和5・6年 有田耐久会役員名簿

役職	氏名	期	役職	氏名	期
会長	和泉 保廣	高22	事務局	古川 友子	高26
副会長	山崎 佳彦	高22	事務局	宮井 順子	高28
副会長	平畑 君子	高22	事務局会計	大浦 睦美	高28
副会長	三角 治	高25	会計監査	生駒 正剛	高34
幹事	弓場 守	高30	会計監査	柳 実	高19
幹事	山田 展生	高31	顧問	下野 憲英	高13
幹事	栗田 佳樹	高41	顧問	柏原政夫美	高19
			顧問	吉松 敏隆	高19

令和4年度予算・決算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

1. 収入の部

	予算額	決算額	増減	備考
入会金	1,020,000	977,500	-42,500	全日制 192名*5,000 定時制 7名*2,500
会報広告	100,000	74,938	-25,062	会報50・51号広告代
会報協賛金	150,000	118,780	-31,220	関東・有田耐久会より
寄付金	150,000	0	-150,000	
雑収入	10,000	113,010	103,010	記念事業補助金・ 預金利息他
(収入計)	1,430,000	1,284,228	-145,772	
前期繰越金	1,578,709	1,578,709	0	
(収入合計)	3,008,709	2,862,937	-145,772	

2,862,937 - 834,432 = 2,028,505 次年度へ繰り越し

同窓会会計について

※収入…令和4年度は、入会金として全日制5,000円・定時制2,500円を終身会費として頂いています。(中途転校・退学の場合は返金)他に同窓生各期や個人からの協賛金や寄付金など。

※支出…クラブ支援、国際交流、講演会、会報などの学校援助に直接・間接に還元。卒業後は、同窓生間や母校の情報を名簿や会報を通じて提供、各期の同窓会開催に援助、母校の支援、会の運営費ほか。

2. 支出の部

	予算額	決算額	増減	備考
1. 運営費	190,000	25,220	-164,780	
会議費	20,000	0	-20,000	
渉外費	30,000	25,220	-4,780	有田タイムス広告費
負担金	40,000	0	-40,000	
旅費	100,000	0	-100,000	
2. 活動費	1,720,000	558,342	-1,161,658	
記念事業費	300,000	420	-299,580	郵送代
母校援助費	600,000	168,755	-431,245	全国出場クラブ激励金、 卒業証書筒代他
同窓会報費	600,000	383,054	-216,946	会報50・51号印刷、 郵送代他
助成費	150,000	0	-150,000	
雑費	70,000	6,113	-63,887	飲み物代
3. 諸費	140,000	53,120	-86,880	
事務費	40,000	13,120	-26,880	はがき代他
慶弔費	50,000	0	-50,000	
払戻金	50,000	40,000	-10,000	転出生払戻
(支出計)	2,050,000	636,682	-1,413,318	
4. 繰出金	202,000	197,750	-4,250	
基本金	102,000	97,750	-4,250	きのくに信金定期へ
同窓会館設立基金	100,000	100,000	0	ゆう貯定期へ
5. 予備費	756,709	0	-756,709	
(支出合計)	3,008,709	834,432	-2,174,277	



祝！文化勲章受章おめでとつてびびります！



谷口維紹博士

谷口維紹さんと高校生活

私たち18期の同級生は谷口さんの文化勲章受章を我がことのように喜んでいる。彼のニックネームは「タコちゃん」・「タコ」で、クラスの人気者であった。以来60年、彼が阪大や東大の教授になってからもこの愛称は生き続けている。

18期は団塊の世代で一学年10クラス、550名であった。当時は模擬テストや学力テストがあるたびにベスト20の生徒の名前が職員室前に貼り出されたので、優秀者の成績順位が分かった。そんな中、谷口くんが上位に入るのはたまにしかなかった。しかし彼は憧れの朝永振一郎教授（日本で二人目のノーベル賞受賞者）がいる東京教育大学理学部に合格した。すごいラストスパートであった。文化功労者で文化勲章を受章した世界的な学者も耐久時代とはびぬけた秀才ではなかったのだ。

部活は、ソフトテニス部と新聞部で毎日部活に明け暮れていた。また音楽にも興味があり熱中していた。いま彼が米国の世界的チェリストであるヨーヨー・マ氏と親友であるのもうなずける。

夏休み恒例の清水でのクラスキャンプで、ダンスの音源がなかったためフォークダンスの曲を彼ともう一人が大声で歌ってくれた。うぶな当時の私は女子と手を握ることができなかったので照れながらもうれしかった。谷口くんは自分は踊らないでみんなのために歌ってくれた。そんな気配りのできるやさしい生徒であった。

学年末に卒業生を送る予餞会で演劇をした。私が保安官ワイアット・アープ役、彼はその恋人役で熱演した。審査の結果わが組の「西部劇」は準優勝に終わり残念であった。ただ、彼は女優をしたので女生徒たちから化粧をしてもらったり、衣装を着せてもらったりして喜んでいて。

とにかく、谷口君の高校生活は幅広い活動で充実していたと思う。部活も趣味も交友関係も全力投球、すべてを吸収しようとする意欲があった。勉強にだけ熱中するようなガリ勉タイプではなく、文武両道の生徒であった。

大学卒業後はナポリ大学（イタリア）を経て、チューリッヒ大学（スイス）大学院で博士課程を修了、その後もハーバード大学（アメリカ）

などを渡り、研鑽、研究を重ね分子生物学・免疫学の世界的な権威となり、多くの国際的な医学賞を受けている。現在も東京大学の名誉教授として研究生活をしながら、国内外各方面からの講演依頼に応えて世界中を飛び回っている。

私たちとはかけ離れた偉大な学者（Ph.D.博士号）になった今も偉ぶらず気さくで、誰とでも穏やかに接するその性格は、彼が自然豊かで人情味厚い三瀬川（旧清水町）で生まれ育ったこと、耐久高校の自由で個人的な校風で学んだことで培われたものと思われる。

研究者としても教育者としても一流、そして何よりも人間としてすばらしい人格者である。そんな彼と耐久高校で机をならべて学べたことを大変うれしく誇りに思う。

辻岡俊明（高18期）



国際会議で学者仲間と

〈谷口維紹先生プロフィール〉

〈略歴〉

- 1996年 耐久高校卒業（18期）
- 1974年 チューリッヒ大学研究所助手
- 1983年 がん研究会生化学部長
- 1984年 大阪大学教授
- 1995年 東京大学医学部教授
- 2006年 ニューヨーク大学医学部付属教授
- 2012年 東京大学特任教授
- 2019年 東京大学総長室アドバイザー
- 2020年 東京大学先端科学技術研究センター・フェロー

〈受賞歴〉

- 1985年 野口英世記念医学賞
- 1988年 朝日賞
- 1991年 ロベルト・コッホ賞
- 1997年 慶応医学賞
- 2000年 日本学士院賞
- 2009年 文化功労賞
- 2010年 有田川町名誉町民
- 2016年 米国医学アカデミー国際賞
- 2021年 瑞宝重光章
- 2023年 文化勲章

「お祝いのこトば」

谷口先生、この度の文化勲章ご受章おめでとつてございます。

先生は関東耐久会の創立来の会員であられて、嘗て総会でご高話をいただいたこともあります。その折に本校入学時のご記憶をたどられて「憧れの白線帽がまぶしかった」と語られました。

授業内容にも触れられて、例えば歴史学科の水準は大学レベルで、とても興味深かったと振り返っておられます。

お生まれの地有田川町（五郷）と母校耐久高校に、深い愛着を持っておられると拝察しました。

本校で学ばれた後に医学研究に勤しまれて、この国の学術界の最高峰である文化勲章ご受章まで登りつめられたことは、同窓生として大変うれしく、また誇らしいことです。この先も一層のご活躍を祈念いたします。

関東耐久会 会長 林 紀男
副会長 富山節子

志学ゼミ 講師先生方の紹介

【50音順・敬称略】

	氏 名	所 属 等	卒業年
1	青山 歓生	国立和歌山工業高等専門学校 教授	S59
2	石橋 昭人	(株) ライフコーディネート	H7
3	井上信太郎 前口あかね	(株) 善兵衛 湯浅町地域おこし協力隊	H21
4	大浦 慶喜	東京海上日動 光陽保険サービス	H7
5	小形 里沙	有田市役所	H30
6	川島 忠弘	三井住友海上エージェンシー・サービス株式会社 和歌山統括執行委員	S60
7	北山あいり	湯浅町役場 一般社団法人湯浅観光まちづくり推進機構株式会社	H22
8	小畑 智哉	(株) タイランホールディングス 代表取締役社長	H11
9	田中 誠二	株式会社エデュケーションリンクス 代表取締役	S55
10	谷井 康人	(株) 谷井農園 代表	S59
11	西 博義	稲むらの火の館 名誉館長	S42
12	三角 治	株式会社地域創生 代表取締役	S48
13	宮崎 翠	翠助産院	H19
14	弓場 守	(元) 湯浅広川消防組合・救急救命士	S53



第9回 志学ゼミ

10月17日(火)

志学ゼミ 講師先生へのお礼

図書館の印象について質問された

とき、「静かにしないといけない」「本を読む人だけが来る」と他のみんなが答えたのに驚きました。私は有田川町に住んでおり、週に一回以上は「アレック」に家族や友達と行っているので、図書館に対する印象がみんなとかなり違っていました。友達と遊ぶとき、本を借りに行くとき、受

験勉強の時も「アレック」へ行き、そして勉強の終わりににはカフェでジュースなどを買います。これが私にとつての図書館での日常であり常識になっています。だからこそ今までの常識を変えてくださった三角先生を心から尊敬しています。

1-1 梅本 望有

これから社会に出て生きていく上で「信頼」が一番大切だと「志学ゼミ」を通して学ぶことができました。信頼を得るためには時間や約束を守るなどの誰でも出来ることを当たり前にすること、服装や笑顔などの細やかな部分も大切だと感じました。



高校生活は社会に出る準備期間だと考え、日々の生活を送っていききたいと思っています。

1-2 森下 惟吹

お話の中で助産師という責任のある仕事を続けていくためのモチベーションの上げ方がとても参考になりました。特に手帳を書いて生活を見える化したり、目標を高く設定してやる気や集中力を上げるといってお話は、自分でもやってみようと思えました。文理選択や進路に関するアドバイスもあつたので、今まで悩んでいた事が少し解決しました。

1-3 川島 昊

「私は、人と人のつながりを大事にしてきた」というお話が一番心に残っています。西先生が教師をされていた時、あまり学校へ出て来られない生徒さんに、根気強く関わりに行つたことで、その生徒さんが救われた。というお話を聞いて、人と人とのつながりを大事に、手放さない

でいることがとても大切なことだと教えていただきました。

1-4 林 咲

私が一番印象に残った言葉は「しんどいことはいつまでも続くことはない」という言葉でした。私は16年間生きてきて、苦しく辛いと思っていたことがたくさんありました。今思えばちっぽけなことでも悩んでいたなと思います。これからは先生の言葉のように今ばかりではなく、先のことも考えて生きていきたいです。

1-5 溝上 悠斗



丸新本家
〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅1466-1
http://www.marushinhonke.com
湯浅醤油(有)
〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅1464
http://www.yuasasyouyu.co.jp

小畑産業株式会社

取締役会長 小畑 英三 (高18期)

〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地
TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505
ei-kobata@kbts.jp

心の健康相談・更年期の健康相談
じん じん
神人クリニック

院長 神人 勉 (高18期)

〒732-0053 広島市東区若草町18-46
TEL 082-261-0600

メールアドレス shirai-t002@wakayama-c.ed.jp

高16期 9年ぶりの同窓会

耐久高等学校16期生・全クラス合同同窓会が、コロナ禍により実に9年ぶりに、昨年の9月29日、50名の出席のもと橘家に開催しました。

全員揃ったあと写真撮影。その後、三尾和子さんの司会進行が始まり、最初に亡き恩師と同窓生54名に在りし日を偲びご冥福をお祈りし、黙祷を捧げました。なんとも言えない寂しさが込み上げてきました。

次に幹事を代表して大西義弘さんが感謝の意を込め開会の挨拶をしてくださいました。続いて東京都八王子市よりご参加下さった小槇達男さんの乾杯の発声で、宴となりました。

ご馳走を前に喜寿の年も吹き飛ばす元気でおいしゃべりが続く中、大西義弘さんよりアメリカニューヨーク在住の嶋田繁次さんからの返信のお便りを読み上げてくれ、9年前に出席されていた姿を思い出しました。

スクリーンに高校時代の修学旅行、体育祭等々の写真が映し出され、学生時代の頃を懐かしく思い浮かべました。余興に入り湯川チヅ子さんが「河内おとこ節」を披露されて、さらに会場を盛り上げてくれました。その後、三尾和子さんのピアノ演奏で校歌、高校三年生上を向いて歩こう、ふるさとの4曲を元気いっぱい合唱しました。



久しぶりの出会いに名残尽きない中、安図修さんが登壇。当日は「中秋の名月」の日、満月のようにつつと元気で誰ひとり欠けることなく長生きしてくださいと素晴らしい閉会の挨拶で、惜しみながら幕を閉じました。

どうぞ、これからもお身体を大切に、お元気であられますことを祈りつつお別れとなりました。

幹事 松野究子（高16期）

高17期 喜寿に集う

令和5年10月14日（土）、有田市宮原町の「橘家」において、昭和40年卒業の第17期同窓会を開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症へ移行となり、3年余りの間続いた自粛や制限が緩和され、有田各地の秋祭りにも賑わいが戻ってきたとはいえ、出席者の数には幹事一同心配をしていました。しかし、事前に数名のキャンセルがありましたが、42名（男子22名、女子20名）の参加を得て、賑やかに開催することが出来ました。

受付で胸に名札をつけ集合写真を撮影し会場へ移動、開会に先立ち物故者のご冥福を願ひ「黙祷」を捧げた後、いつも通り声高らかに「校歌斉唱」でスタート、司会者からの開会の挨拶に続き、籠谷伸一郎君の発声で「乾杯」、令和2年に予定していた同窓会は新型コロナウイルスのため断念したため、7年ぶりの集いを共に喜び懇親会が始まりました。今回はカラオケや余興は割愛し、食事の箸を進めながらの近況報告や懐かしい高校時代の思い出話などを楽しむこととしました。

宴会中程で、この度の秋季高校野球県予選で「硬式野球部優勝」の快挙を喜び、硬式野球部主将を務めていた東喜裕君より母校野球部の近況や近畿地区高校野球大会の展望について話をしてもらい、念願の甲子園出場の夢が叶うかもと大いに盛り上がり、野球部の健闘を祈念しました。また、県警を退職した上田勤君から高齢者の「詐欺被害防止」や「いつまでも若く元気で」というテーマで面白可笑しく楽しませてもらいました。約3時間余りの和やかで楽しい同窓会の締めは幹事を代表して、久保田修君の挨拶で閉会いたしました。



私たちが17期卒業生は昭和60年に湯浅城で最初の学年全体の同窓会を開催いたしました。以来38年間ほぼ4年毎に開催してきましたが、この度の「喜寿に集う」を以て幕を閉じることにいたしました。これからは各々が機会をみて一献を交え、親交を温めていただければと思います。

結びに、母校耐久高校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

幹事代表 竹内雅昭（高17期）

 橘 家 Wedding Hall TACHIBANA 橋爪正文(高39期) ご予約は TEL 0737-88-7005 FAX 0737-88-7775 URL http://www.tatibanaya.jp 〒649-0434 有田市宮原町新町17	田辺法律事務所 弁護士 田辺善彦 (高14期) 〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2 TEL 073-431-2801 FAX 073-433-2299	有限会社 衣奈不動産鑑定所 不動産鑑定士 衣奈 伸和 (高18期) 〒643-0004 湯浅町湯浅2026-5 豊園ビル TEL 0737-65-3066 FAX 0737-62-4066	医療法人和会 宮井クリニック 宮井 将博 (高34期) (一部予約制) 泌尿器科 一般外科 TEL 0737-22-3333 〒649-0433 和歌山県有田市宮原町須谷533-1 診療時間 午前9:00~12:00 午後4:00~6:30 休 診 木、土、日・祝日
--	---	--	---

◆ 地元、有田耐久会にご入会を！ (お問い合わせは事務局 0737-62-4148)



高31期

同窓会

令和5年11月4日、昭和53年度卒業生（第31期生）の同窓会をホテルグランヴィア和歌山において開催しました。私たち第31期生（普通科8クラス・理数科1クラス）は、40歳、50歳を迎える年に同窓会を行い、「次回は還暦を迎えた年の開催」を予定していました。

開催予定の前年に幹事会・クラス世話人会を開き、準備を始めたのですが、思いもよらなかったコロナ禍により、開催の見通しが立たない状況になりました。その後、幹事間で連絡を取り合い、2年遅れの開催を予定し準備を再開しました。令和5年3月の幹事会において、開催日時、会場、当日までのスケジュール等を決めたのですが、その後の感染状況を見ると安心できない状況が続きました。

そうして迎えた同窓会当日。受付では、再会を喜ぶ声が聞かれるとともに、たくさん笑顔を見ることができました。『遅ればせながらの「還暦」同窓会』は、クラス世話人の尽力もあり、141名が集まりました。また、柏原政夫美先生、福島恒雄先生、古谷仁和先生、安宅川崇先生もご臨席くださいました。

テーブルごとに思い出話に花が咲くなか、学級ごとに集合写真を撮り、先生方にお話しいただいたり、クラス世話人よりコメントをもらったりしました。また、折しも硬式野球部の秋季大会での活躍（準決勝で京都外大西高に惜敗）があり、甲子園出場を願う・信じる・既に決定したかのような声を聞くことができました。（フライングですが、舞台上には、「祝・

耐久高校野球部甲子園出場決定！」の文字もありました。最後に甲子園への出場と健闘を祈り、校歌を斉唱しました。第31期生全体での同窓会は今回が最後となりましたが、同窓生の交流はこれからも続きます。お互いの健康と安寧を祈りつつ、散会となりました。

新谷 彰（高31期）



ご献金に感謝

高16期生一同様
高31期生一同様

第23回有田耐久会（第52回耐久会）

ゴルフコンペ

第23回有田耐久会（第52回耐久会）ゴルフコンペが令和5年10月18日（水）に有田リアソナゴルフクラブで開催されました。

晴天の中、童心に返ってわいわいがやがやと楽しそうにプレーしていました。

参加者は30名で、うち初めて参加されたのは3名でした。優勝者は栗山茂規さん（高21期）、ベストグロス賞は74のスコアで平野栄樹さん（高27期）でした。各賞を受賞された方々、おめでとうございます。

次回開催は令和6年3月21日（木）を予定していますので、より多くの皆様方のご参加をお願いします。

副会長 弓場 守（高30期）



祝 甲子園初出場

同窓会本部役員・会報委員会一同



ペットと泊まるログハウスの宿

パートナーズハウスゆあざ

横山 享

（高14期）

湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411
URL: http://www.partnershouse.jp

総合ビルメンテナンス・特定人材派遣

(株)ウイ・キャンコーポレーション

取締役会長 岡 伸彦（高14期）
代表取締役 岡 勇作（高19期）〒535-0002 大阪市旭区大宮4-15-9
TEL 06-6954-0346
FAX 06-6954-0577

各種印刷・紙器・果実包装紙

辻本印刷所

〒649-0303 和歌山県有田市新堂208-1
TEL (0737) 82-4444・82-5400
FAX (0737) 83-6006

同窓の情報交換のスペースとして会報を活かしましょう。

絆

マンドリン部の巻

部活OB・OGたちの

私たち耐久高校マンドリン部は、現在2年生6人、1年生5人の計11人で活動しています。活動内容は、平日は毎日放課後、土曜日は午前中、演奏会が近くなると一日練習と運動部に負けないくらいの練習量をこなしています。

校内の活動としては、文化祭での演奏や図書館でのクリスマスコンサートをしました。校外では、済生会有田医療福祉センター主催の健康フェスタで演奏させてもらったり、アレックでの演奏、ハッピージョイントコンサートなど地域での演奏もたくさんさせてもらっています。私たちの目標は、毎年7月に大阪で行われる全国高等学校ギターマンドリン音楽コンクールで優秀賞を受賞することです。

部員全員が高校入学後、マンドリンやギターを始めた初心者で、はじめは楽譜が読めない部員も多くいましたが、先生方に指導してもらったことで、ひ



とつひとつ課題をクリアしながら、「楽しんで演奏する」をモットーに日々部員同士で切磋琢磨しています。これから残り少ない部活動の日を送っていく中で、部長として自分の意識や技術を高めていくだけでなく、みんなを引っ張っていく存在になれるようしっかりと目標と自覚を持って練習に励んでいきたいです。最後に、部の目標を目指し練習に励み、1人でも多くの方にマンドリン演奏を聴いていただけるよう活動していきたいと思っています。応援よろしくお願いします。

部長 安本祐人

紡ぐ

俳壇・歌壇

- ・荒神の百余の鳥居冬めけり
夏見起久子(高14期)
- ・銀杏落葉子ら撒き散らす光かな
半辺みつ子(高18期)
- ・稲束の燃える炎に活路あり
梧陵翁を偲ぶ松明の列
坂本康寛(高18期)
- ・尽き果てぬ欲にほだされ滅びゆく
世界の平和の尊厳
大前真紀(高32期)

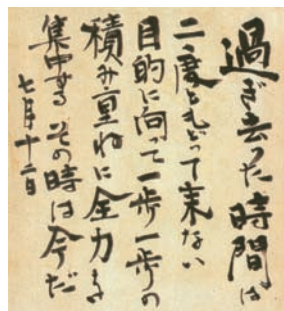
父の言葉に

あれは高校1年の夏だった。中庭の椅子に腰を下ろし、父は私にこう言ったのだ。

「これからはお前を一人前の人間としてつき合っていく。自分のやりたいことは、自分で考えてしっかりとやるといい。だから自分の行動に責任をもつて生きてゆきなさい」と。自由にしたい、という言葉の裏には、大きな責任が課せられている。

父の真剣な目に見つめられて背筋がぞくぞくとしたのを覚えていて。父に一人前として認められた嬉しさより、その重大さに突き

放されたような気分でもあったのだ。その時、父の書いた一枚の色紙を受け取った。



「言葉が背を押す」と言われるが、この言葉は今も、私の生き方に指針を与え、頑張る私を応援してくれている。私はその情景をずっと心に置いて自分を励ましながら歩いてきたような気がする。

『編集後記』

令和5年度は、耐久が注目されました。1905年創立された耐久硬式野球部が、秋季県大会で優勝、近畿大会ベスト4の成績で選抜出場を決めました。野球部は、和申、田辺中に次いで古く、最初の試合の出で立ち運動服で捕手はキャッチャーミット、野手は素手だったそうです。「甲子園はもうだめか」とのあきらめの中、苦節119年悲願を達成してくれました。おめでとう、ありがとう。

もう一つは18期の東京大学名誉教授谷口維紹氏の文化勲章受章です。物理学者の故瀬藤象二博士に次いで耐久二人目の栄誉です。さて、世界的な学者はどんな耐久生だったのでしょうか。同級生が書いてくれました。

コロナ禍で中止、延期されていた同窓会が各期で開催されています。16期・17期・31期の報告です。先輩が耐久生に語る「志学ゼミ」も定着、耐久の絆が深まっています。マンドリン部、全国高校ギターマンドリン音楽コンクールで日頃の成果を出せるよう頑張ってください。

